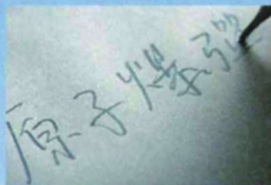


柳楽優弥 × 有村架純 × 三浦春馬 × 監督:黒崎博

日米で描く“日本の原爆開発”——。ハリウッドを魅了した青春物語。

太平洋戦争末期に存在した「F研究」と呼ばれる“日本の原爆開発”。その事実を基に、時代に翻弄されながら全力で駆け抜けた若者たちの、等身大の姿を描いた青春群像物語。監督・脚本は「青天を衝け」など多くの話題作を手がける名手・黒崎博。彼が10年間大切に温め続けたこの企画に共鳴し、柳楽優弥、有村架純、三浦春馬、田中裕子、國村隼、イッセー尾形、山本晋也、そしてピーター・ストーメアが参加。音楽にはアカデミー賞®5部門ノミネートの『愛を読むひと』のニコ・ミュージー、サウンドデザインに『アリー/スター誕生』のマット・ヴォウレスと、ハリウッドスタッフが続々と参加。さらに主題歌を、製作陣の熱い想いを受け止めた福山雅治が担当し、心に沁みるバラード「彼方で」で物語を深く彩る。今夏最注目の日米ビッグプロジェクトが遂に公開。



STORY

1945年の夏。軍の密命を受けた京都帝国大学・物理学研究室の若き科学者・石村修(柳楽優弥)と研究員たちは、原子核爆弾の研究開発を進めていた。研究に没頭する日々の中、建物疎開で家を失った幼馴染の朝倉世津(有村架純)が修の家に居候することに。時を同じくして、修の弟・裕之(三浦春馬)が戦地から一時帰郷し、久しぶりの再会を喜ぶ3人。ひとときの幸せな時間の中で、戦地で裕之が負った深い心の傷を垣間見る修と世津だが、一方で物理学に魅了されていた修も、その裏にある破壊の恐ろしさに葛藤を抱えていた。そんな二人を力強く包み込む世津はただ一人、戦争が終わった後の世界を見据えていた。それぞれの想いを受け止め、自分たちの未来のためと開発を急ぐ修と研究チームだが、運命の8月6日が訪れてしまう。日本中が絶望に打ちひしがれる中、それでも前を向く修が見出した新たな光とは——?

戦争が終わろうとしていたあの頃——
死と隣り合わせの弟がいた
ただ一人、未来を見つめるあの娘がいた
守るべき彼らのために、これからの世界のために僕は、
がむしやりに走り続けた



2024年大洗町生涯学習課映画上映会

2024年8月10日(土) トヨペット スマイルホール 大洗 (大洗町民会館)

◆【開演時間】① 午前10時30分～ ② 午後2時～【開場各30分前・上映時間111分・字幕付上映】

◆【鑑賞料金】前売券 1,100円【チケット販売開始日:6月10日(月)～】(当日券/一般 1,400円、小・中・高生:800円)

※チラシ持参で一般当日券 1,200円に割引します。

◆【前売券取扱所】大洗町生涯学習課窓口(平日 9:00～17:00)

茨城映画センター(前売券予約専用TEL090-2641-3156/平日10:00～17:00)

※遠隔地の方はデジタルチケットもご利用できます。詳しくは二次元コードを読み込んでください。

◆共催◆ 大洗町教育委員会生涯学習課[TEL029-266-2442]

◆共催◆ (有)茨城映画センター[TEL029-226-3156]

PassMarket

